

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1765号	氏名	栗田 伸一
論文審査担当者		主査教授	有吉 紅也
		副査教授	平山 壽哉
		副査教授	森内 浩幸
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>本論文の目的は、呼吸器病原性インフルエンザ菌（NTHi）由来外膜タンパク（OMP）の反復接種に伴う肺における樹状細胞（DC）の動態と肺・全身における獲得免疫誘導を経時的に観察し、両者の連携を検討することであり、妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>BALB/c マウスに NTHi93-151 株由来 OMP を 3 回、経気管接種後の獲得免疫反応を包括的かつ経時的にそれぞれ適切な実験手法を用いて評価しており、さらに接種後マウスの肺内菌クリアランス能を解析するなど研究手法は妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価</p> <p>本研究により、OMP 経気管接種後所属リンパ節中の成熟 DC の集積と P6 特異的 T 細胞増殖、脾細胞中の P6 特異的抗体産生細胞数増加、気道粘膜下における IgA 産生細胞の増加とそれに伴う BAL 液中の P6 特異的 IgA の検出が示され、気道局所の抗原特異的 IgA 産生が NTHi 生菌の肺内菌クリアランスの促進に関与することが示唆された。</p> <p>以上のように、本論文は NTHi 由来 OMP によって得られる獲得防御免疫を包括的かつ動的に解析したものであり、今後の NTHi ワクチン開発に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			